

第2部

ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム

見学会



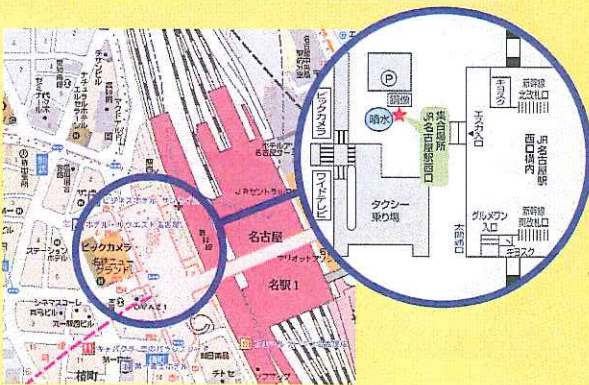
子供の絵のパビリオン

- 日時** 平成17年6月10日(金) 9:00~12:00 (現地解散)
- 会場** 愛知万博 ワンダーサーカス電力館
- 参加費** ¥3,000
- 定員** 80名(先着順)



※見学会だけのお申込は出来ません。

集合：名古屋駅太閤樋口噴水前（8：45）



申込先ならびに問い合わせ先

(財) ヒートポンプ・蓄熱センター
蓄熱技術部 シンポジウム事務局 行
TEL:03-5643-2403/FAX:03-5641-4501
(〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-5 蛸殻町Fビル6F)

申込方法

申込書にご記入のうえ 5月30日(月)までに 郵送またはFAXにてお申し込み下さい。申込み受け付け次第、参加証をお送りします。なお、インターネット (<http://www.hptcj.or.jp>) でも申し込みができます。

見学会参加受付者には後日、参加証ならびに参加費の請求書を送付いたします。

第2回 ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム 参加申込書	
氏名	
会社名	
部署名	役職名
勤務先	〒
住所	
連絡先	TEL: - ()
	FAX: - ()
	mail:
見学会 (6月10日)	<input type="checkbox"/> 参加する 受付終了 <input type="checkbox"/> 参加しない



第2回

ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム

Heat Pump & Thermal Storage Technology Symposium

「省エネ・環境にやさしい蓄熱システムの運転管理」

第1部

講演会

日時 平成17年6月9日(木)
13:30~17:00

会場 ウェスティンナゴヤキャッスル

定員 **200**名(先着順)

第2部

見学会

日時 平成17年6月10日(金)
9:00~12:00

会場 愛知万博 ワンダーサーカス電力館 他

定員 **80**名(先着順)

受付終了

財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

日時 平成17年6月9日(木) 13:30~17:00

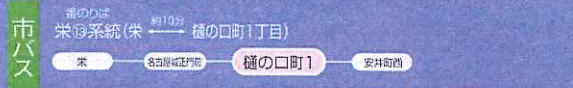
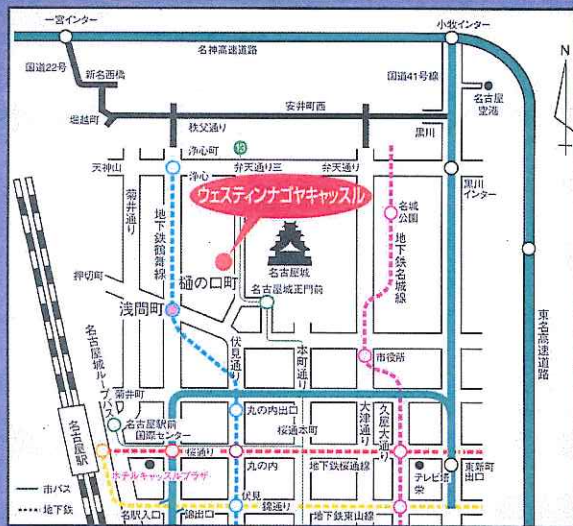
会場 ウェスティンナゴヤキャッスル 2階 天守の間

主催 (財) ヒートポンプ・蓄熱センター

協賛

(財)建築環境・省エネルギー機構、(財)省エネルギーセンター、(財)建築保全センター、(財)日本建築センター、(社)日本ビルテック協会連合会、(社)建築・設備維持保全推進協会、(社)全国ビルメンテナンス協会、(社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、(社)公共建築協会、(社)建築設備技術者協会、(社)日本設備設計事務所協会、(社)建築設備総合協会、(社)日本冷凍空調設備工業連合会、(社)日本建築学会、(社)空気調和・衛生工学会、(社)日本冷凍空調学会、(社)日本冷凍空調工業会、(社)日本ファシリティマネジメント推進協会、(社)電気設備学会、(社)日本電設工業協会、電気事業連合会、北海道電力(株)、東北電力(株)、東京電力(株)、中部電力(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)、中国電力(株)、四国電力(株)、九州電力(株)、沖縄電力(株)

会場(ウェスティンナゴヤキャッスル)までのアクセスマップ



第1部

ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム

講演会

Heat Pump & Thermal Storage Technology Symposium

入場無料 定員200名(先着順)

総合司会:名古屋大学 環境学研究所 教授 奥宮正哉氏

講演内容	(講演時間)	講演者・発表者
主催者挨拶	(13:30~13:45)	(財) ヒートポンプ・蓄熱センター
1. "熱負荷予測を用いた蓄熱システムの最適運転法"	(13:45~14:30)	京都大学大学院 吉田 治典氏
2. 蓄熱システムの遠隔監視によるシステム運用の実態および運転改善事例について"	(14:30~15:10)	株式会社トーエネック 真野 高光氏
(休憩)	(15:10~15:20)	
3. 公募改善事例表彰式/講評	(15:20~15:50)	東京電機大学 射場本 忠彦氏
4. 優秀"公募改善事例"紹介 蓄熱システムの運転管理等に関する改善事例発表	(15:50~16:50)	
6. 閉会の挨拶	(16:50~17:00)	シンポジウム実行委員長 佐藤 卓司氏

1. 基調講演

「熱負荷予測を用いた蓄熱システムの最適運転法」

蓄熱システムでは、翌日の空調負荷の一部を夜間に蓄熱するが、日毎に蓄熱量を適切に設定すると、低負荷時に冷水温を設計値より少し高くするとかいう工夫によって空調システムの効率は上昇する。

こうした運転管理上の課題を蓄熱システムのモデル化と熱負荷予測手法とを組み合わせることにより、解決する最適運転・制御手法が開発されつつある。

講演では、システムの構造、その効果、今後の課題などについて報告する。

2. 主催者推薦事例

「遠隔監視による蓄熱システム運用の実態および運転改善事例について」

講演者の所属するエンジニアリング会社では、平成6年より蓄熱槽を保有する建物の熱源システムを対象に電話回線を利用した遠隔監視業務を開始し、現在は40件の建物の監視・管理を行っている。

今回、遠隔監視の全体システム・夜間移行率向上への実務の紹介と、蓄熱システムのトラブル事例や改善事例などの紹介を行う。

3.4. 公募改善事例表彰および発表

蓄熱システムの運転管理等に係る改善(運転管理面での創意工夫、運転管理手法の改善、蓄熱設備の改良・工夫、その他新規性、創造性等のある改善)について、優秀事例を表彰ならびにその内容を紹介する。